

主な仕様

※本機の仕様および外觀は改善のため予告なく変更することがあります。

- 総合仕様
 - 型式 : バスレフ型/パワースピーカー
 - 再生周波数帯域 : 100 Hz ~ 15 kHz
 - 定格出力音圧 : 97dB (1m)
 - 電源 : AC100 V 50 Hz / 60 Hz
 - 消費電力 : 35 W
 - 外形寸法 : 175 mm(幅) × 235 mm(高さ) × 190 mm(奥行)
 - 質量 : 3.8 kg(ワイヤレスチューナーユニット別)
 - 仕上げ : キャビネット、シルバー塗装/ABS樹脂
 - 付属品 : マニュアル、ドライバー、保証書、保証書封筒
 - 保証 : バネル グレー塗装
 - 保証期間 : (ワラン) 3年/0.6近軌 (白黒) AN-65(2001年) 近軌
 - 製造元 : ワイヤレスチューナーユニット
 - 製造国 : WT-UD84
 - 製造者 : 当社製 800MHz ワイヤレスマイク
 - スピーカー部 : 12 cm コーンスピーカー (防磁型)
 - ユニット : コーンスピーカー : 4 Ω
 - 公称インピーダンス : 4 Ω

- 出力音圧レベル : 88dB / W (1m)
- パワーアンプ部
 - 定格出力 : 8 W (4 Ω)
 - 音大出力 : (100 Hz~15 kHz 全周波) 3% 以下
 - マイク(ライン)入力 : (100 Hz~15 kHz 全周波) 5% 以下
 - AUX 入力 : (10 KΩ 平衡、複式フオノジャック)
 - ミックス出力 : (10 KΩ、不平衡、ピンジャックLR)
 - 付属品 : (平衡) 複式フオノジャック 適合 (10 KΩ)
 - 付属品 : (不平衡) 複式フオノジャック 適合 (10 KΩ)
 - 付属品 : 金具取付ネジ (M5 × L12)
 - 付属品 : 保証書
 - 付属品 : 取扱説明書
 - 付属品 : 安全上の注意

- 安全上の注意 : 2
- 設置上の注意 : 2
- 使用上の注意 : 3
- 設置のしかた : 3
- 各部の名称とはたらき : 4
- ワイヤレスチューナーユニットWT-UD84 (別売) の組み込みかた : 5
- 接続のしかた : 6
- 故障かな? と思う前に : 7
- ブロックダイヤグラム : 7
- 外觀寸法図 : 7
- 主な仕様 : 裏表紙
- 保証とアフターサービス : 裏表紙

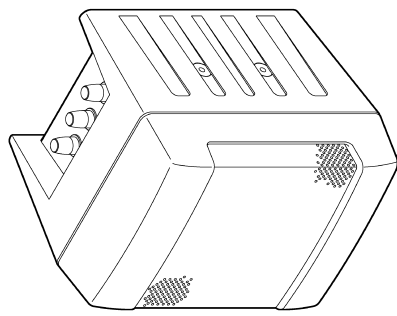


PS-S222P パワースピーカー

パワースピーカー

取扱設置説明書

型名 PS-S222P



- 特長
 - BSサイズで最大30Wのハイパワーを実現しています。
 - 高音質と耐久性を実現した12cmフルレンジスピーカーを採用しています。
 - 防磁設計によりディスプレイなどの磁気干渉が避けられます。
 - ミックスアウト出力端子を装備して、ミッドレンジの適用が可能です。
 - 800MHzワイヤレスチューナーユニット (別売) 内蔵可能です。
 - 最大で有線マイク、外部機器、ワイヤレスマイクの3系統を同時に使用できます。
 - 高効率D級アンプを採用した専用設計の省エネ設計です。

お客様相談センター

日本ビクター株式会社
 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
(03)5684-9311 [代表]
 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル
(06)6765-4161 [代表]

日本ビクター株式会社
 システムネットワーク事業本部
 〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7291 [ダイヤルイン]

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお送りいたします。 (お買い上げの日、保証書名) 裏の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みください。大切に保管してください。

保証期間 : 保証書に記載の期間

お買い上げの日から1年間

補修性確保期間

パワースピーカーの補修性確保期間の最低保証期間は、製造打切り後5年です。

この期間は、品質向上の推進によるものです。

補修性確保期間とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

修理を依頼される時とは

故障のあるときは、お手数でもまず、原 各部の状態、つまりの位置についてお調べください。それらも場合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

保証期間が満了しているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様の要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

故障した部品を正常に修復するための材料です。技術者の人件費、技術設備費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

修理に使用した部品代です。その間修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

製品のいる場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、修理料金をいただく場合がございます。

修理期間中の注意

修理期間中は、保証期間中に修理させていただきます。

修理に際しましては保証書を返却させていただきます。

保証書の捺印に基づいて保証期間が延長させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パワースピーカー
型名	PS-S222P
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
お住所	付近の目安も併せてお知らせください。
電話番号	
訪問希望日	

修理料金 : 〇 () -

●この商品を購入する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

長時間ご使用にならない場合は、省エネキーのため電源スイッチを切ってください。

安全上のご注意

検表示について

この取扱説明書および製品への警告では、製品の安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな検表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

検表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。

図の中や近傍に具体的な注釈内容が示されています。

⊙ 記号は禁止の行為であることをお知らせするものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

警告

- 電源を入れる前には音量を最小にする。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 本機は日本国内専用です。必ず商用電源 AC100V で使用します。
- 機器内部に水や異物を入れない。火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を分解・改造しない。火災や感電の原因となることがあります。

- 万一液体や水などが機器内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本機に布等がかからない。内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機は必ず安定した場所に設置する。倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

注意

- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししない。感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱源器具に近づけたり、加熱したりしない。コードの断線が招いて火災や感電の原因となることがあります。
- ワイヤレスチューナーユニット (WT-U084) の組み込みは本体の電源を切ってから行う。感電の原因となることがあります。

設置上のご注意

- 天井や壁に設置する場合は技術者を必要としますので、必ず販売店にご依頼ください。高所での設置作業となり大変危険です。
- パワードスピーカーは質量に十分耐えられる構造材の真ん中に取り付けてください。構造的に弱い場合は、補強材を当てて充分に補強してください。
- 面のあたる場所や隙間の多いところへは設置しないでください。故障や落下事故の原因となります。

使用上のご注意

- ミュージック動作について
電源を入れてから数秒間は音が出ませんが、これはスピーカーを保護するミュージック動作のためで、故障ではありません。
- 電源スイッチの投入について
全ての接続が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。周辺機器と組み合わせて使用されるときは、本機の電源を断後にしてください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

- ハウリング（キーンという発音）について
マイクホンとスピーカーの距離を減してください。お互いに近くにしてお使いになります。ハウリング（キーンという発音）が起きやすくなります。ハウリングが起きたときには、マイクをスピーカーの方向に向けず、反対方向に回してください。またハウリングの起こらないことを確認しながら徐々に音量をあげてください。またマイクの遮防部をふさぐとハウリングが起きやすくなりますのでご注意ください。

- 防磁型スピーカーについて
本機は、テレビの近接使用が向形な防磁型スピーカーを使用していますが、設置のしかたによっては、テレビに色むらが発生することがあります。その場合は、テレビから離して設置してください。

- 配線について
マイクケーブルを電源線やスピーカー線と一緒に配線しないでください。ハム音やノイズの原因となります。できるだけ離して配線してください。

設置のしかた

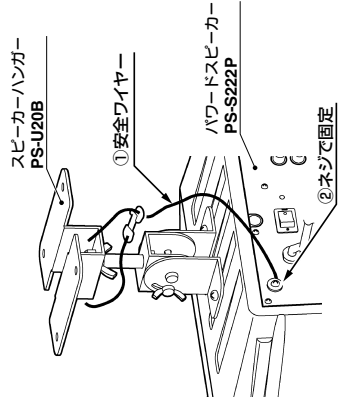
本機は、可動や据置による使用のほか天井、壁、スタンドへの設置が可能です。下記の別売オプションが必要となりますので、設置する際は各商品の取扱い説明書をお読みの上、正しく設置してください。

- スピーカーハンガー（天井吊下用）：
PS-U20B（スターグレイ）、PS-U20W（アイボリー）
- スピーカーハンガー（壁面取付用）：
PS-U30B（スターグレイ）、PS-U90W（アイボリー）
- 市販の60mmピッチのマイクスタンドスピーカーホルダーを使用し、マイクスタンドに取り付けられます。購入されたマイクスタンドスピーカーホルダーおよび、マイクスタンドの取扱説明書をお読みください。

■安全ワイヤーの取り付け方法

- ① 安全ワイヤーの片側を使用するスピーカーハンガーのなるべく壁や天井に近い部分に通し、先頭の輪の中をくぐらせます。
- ② もう一方の端をスピーカー本体に付属のネジで固定します。

■安全ワイヤーの取り付け例

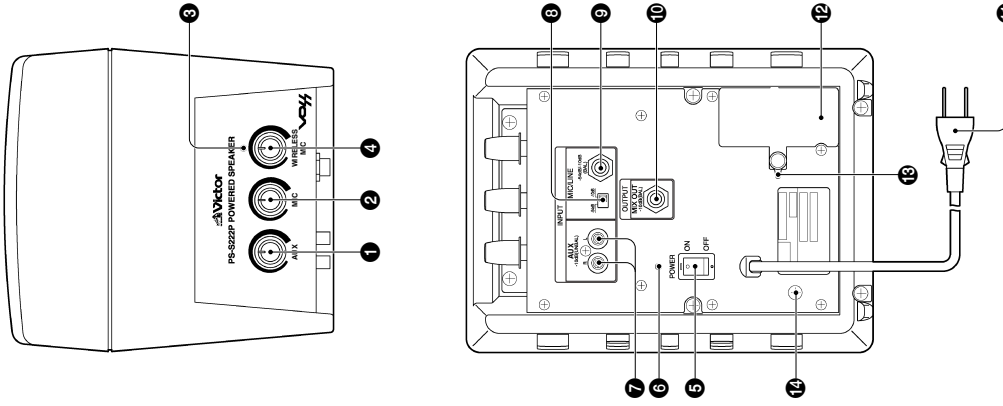


- 天井や壁への設置には必ず付属品の安全ワイヤーを取り付けてください。落下事故の原因となります。

- 天井や壁への設置について
スピーカーを大量で鳴らすと、壁や天井などの構造によっては振動して音質を損ねる場合がありますので、壁や天井を補強してください。
- 設置場所について
テレビ、チューナーなど電波を受信するもの近くに置くこと、受信に影響を及ぼすことがあります。受信状態が悪くなったときの機器を遠ざけてください。
- キャビネットの清掃について
キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺菌剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中心に含まれる可塑剤（かざい）の働きにより変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

- ワイヤレスマイク（別売）について
- 仕様欄に記載の適合ワイヤレスマイク以外は使用できません。
- 内蔵のアンテナでの到達距離は直通距離で、約30mです。
- ワイヤレスマイクを移動しながら使用しますと、電波の干渉や反射等によって急に音がとぎれる場合があります（デッドポイント）。このよなときは、本機を1〜2m移動するか、設置場所の高さを変えてください。
- 同一場所もしくは隣接する場所で複数の本機とワイヤレスマイクを使用する場合は、必ず異なるチャンネル（周波数）に設定してください。同一の周波数を複数のワイヤレスマイクを使用することはできません。
- 高周波を使用する機器やコンピュータなどを使用している機器などに本機を近づけるとノイズなどの影響を受けることがあります。このよなときは、ワイヤレスマイクと本体を近づけると、本機の設置場所を変えてください。

各部の名称とはたらき



● 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源 AC100 V で使用する。

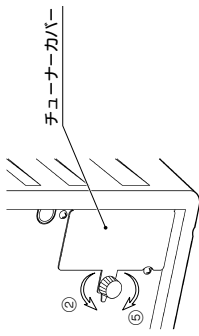
- ① **AUX** AUX ポリウム
⑦ AUX入力端子に接続されたCDプレーヤーやカセットデッキなどの機器の音量を調整します。
- ② **MIC** マイクポリウム
⑧ マイク/ライン入力端子に接続された有線マイクまたは機器の音量を調整します。
- ③ **受信表示ランプ (緑)**
ワイヤレスマイク受信中に点灯します。
- ④ **WIRELESS MIC** ワイヤレスマイクポリウム
ワイヤレスマイクの音量を調整します。
別売のワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーユニットをご用意ください。
- ⑤ **POWER** 電源スイッチ
スイッチを「ON」側にすると電源が入ります。電源を投入すると⑥ 電源表示ランプ(緑)が点灯します。数秒後に動作状態に入ります。電源を切る場合は、スイッチを「OFF」側にしてください。
- ⑥ **電源表示ランプ (緑)**
電源スイッチ「ON」で点灯します。
- ⑦ **AUX (L/R)** AUX入力端子
ピンジャック 不平衡 -10dB 10kΩ
CDプレーヤーやカセットデッキなどの機器を接続します。L/Rの信号は、内部でモノラル接続されます。
- ⑧ **-54dB/-10dB** 入力感度切替スイッチ
⑨ マイク/ライン入力端子の入力感度を切り替えます。有線マイクを使用する時は、入力感度切替スイッチを「-54dB」側に設定します。ラインレベルの機器を接続する場合や、本機を複数台接続する場合は、「-10dB」側に設定します。
- ⑨ **MIC/LINE** マイク/ライン入力端子
複式フォノジャック 平衡 -54dB/-10dB 10kΩ
有線マイクまたは他の機器を接続します。本機を複数台接続する場合は、⑩ ミックスアウト出力端子からのマイク/ライン入力端子に接続します。
- ⑩ **MIX OUT** ミックスアウト出力端子
複式フォノジャック 平衡 -10dB 10kΩ
本機を複数台接続する場合は、このミックスアウト出力端子からもう1台のPS-S222Pのマイク/ライン入力端子に接続します。MIC/LINE、AUX、WIRELESS MICからの入力信号がミックスされ、この端子から出力されます。⑪ マイクポリウム ⑫ ワイヤレスマイクポリウムで各信号の出力レベルの調整を行います。
- ⑪ **電源コード**
AC100Vのコンセントに接続します。
- ⑫ **専用ワイヤレスチューナーユニット(別売)** 組込部
別売のワイヤレスチューナーユニット(WT-UD84)を接続します。
- ⑬ **チューナーカバー**
チューナーカバーの先端がチャンネル設定用工具になっています。ワイヤレスチューナーユニット(別売)の設定を変更する際にご使用ください。
- ⑭ **安全ワイヤー取付部**
スピーカーハンガーを使用する場合は、添付のネジを使用し、安全ワイヤーを取り付けます。

ワイヤレスチューナーユニットWT-UD84(別売)の組み込みかた

チューナーユニットの組み込みは、お買上げ販売店にご依頼ください。

チューナーユニットの組み込みかた

- ① 電源スイッチを切り (OFF)、電源コードを抜きます。
- ② 右下のまるチューナーカバーをはずします。
- ③ チューナーユニットを挿入し、奥のコネクタに確実に差し込んでください。

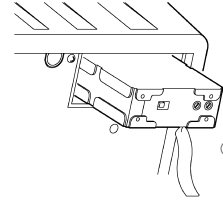


ご注意

チューナーユニットの上下をまちがえないようご注意ください。(③の図を参照)

- ④ チューナーユニットの左側についているリボンを隙間に差し込んでください。

このリボンは、チューナーユニットを取り出す時に使用します。リボンを外したり、切り取ったりしないでください。



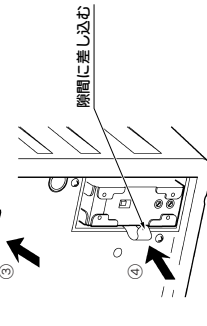
- ⑤ チューナーユニット装着後は、チューナーカバーを元どおりに取り付けてください。

ご注意

チューナーカバーを取り付けないと、チューナーユニットがはずれてしまいます。

周波数の設定のしかた

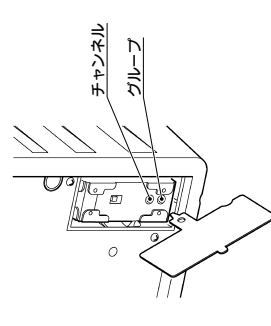
- ① 次ページのグルーブ/チャンネル組み合わせ表をもとに設定するグルーブとチャンネル番号を決めてください。
- ② チューナーカバーもしくは、小型の①ドライバーを用いて、設定スイッチの矢印を①で決めたグルーブおよびチャンネル番号の数字に設定してください。
- ③ ワイヤレスマイクのグルーブおよびチャンネル番号をチューナーユニットと同じグルーブ及びチャンネル番号に設定してください。



設定方法は、ワイヤレスマイクの取扱説明書をご覧ください。

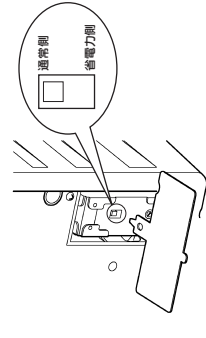
ご注意

同一場所で、ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用する場合は、異なるグルーブに設定したり、同じグルーブで同じチャンネルに設定しないでください。正しく受信できません。



動作モードの設定のしかた

チューナーユニットの動作モードを設定します。本機では「通常」モードを選択します。
チューナーカバーもしくは、小型のドライバーを用いて、設定してください。



ワイヤレスチューナーユニットWT-UD84(別売)の組み込みかた(つぎ)

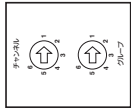
■グループ/チャンネル組合わせ表

呼称	1	2	3	4	5	6	
帯域	B11	B12	B13	B14	B15	B16	
B	1	B21	B22	B23	B24	B25	B26
	3	B31	B32	B33	B34	B35	B36
	4	B41	B42	B43	B44	B45	B46
	5	B51	B52	B53	B54	B55	
	6	B61					

30波

受信表示ランプについて

- 電源投入時
ワイヤレスチューナーの動作確認のため、約2秒間点灯した
後消灯します。
- 受信時
点灯します。
- グループ/チャンネル設定が誤っている時
点滅します。
- 点滅している時は、左の表をもとにグループまたはチャ
ンネル設定スイッチを正しい位置にしてください。
- それでも点滅している時は、お買い上げ販売店またはピク
チャーサービス窓口にお問い合わせください。



ご注意
組合わせ表にない設定や、 部分の設定は使用できません。

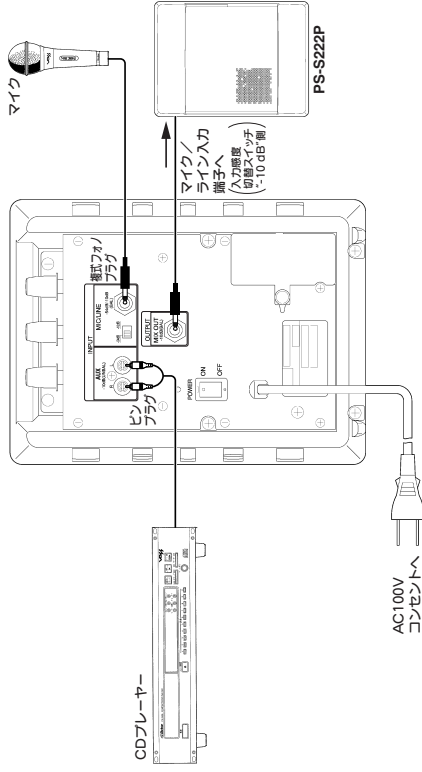
受信表示ランプ



同一場所、ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用する場
合は、異なるグループに設定したり、同じグループで同じ
チャンネルに設定しないでください。正しく受信できません。

接続のしかた

本機を使用した様々な接続方法が考えられますが、そのうちの一例を以下にあげます。
機器の接続を行うときは、本機を含め各機器の電源を必ずOFFにしてください。また接続の前に本機のボリューム
は、すべて最小にし、接続するすべての機器のボリュームも必ず最小にしてから接続してください。

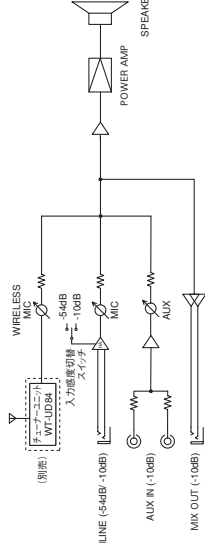


有線マイクをマイク/ライン入力端子に接続します。CDプレーヤーやコンピューターの音声出力をAUX入力端子
に接続します。AC電源コードをAC100Vコンセントにつなぎます。接続されている機器の電源を入れます。最後
に本機の電源を入れます。
使用する際は、接続機器の取扱説明書をお読みください。

故障かな?と思う前に

症 状	原 因	処置・確認のしかた	参 照 ページ
電源が入らない。	● 電源コードが抜けている。	● 電源コードを確実に差し込む。	—
マイクの音がでない。	● マイクコードが抜けている。 ● マイクのスイッチがOFFになっている。 ● 本機のマイク、ワイヤレスマイク ボリュームが絞られている。	● マイクコードを確実に差し込む。 ● マイクのスイッチをONにする。 ● マイクもしくはワイヤレスマイクの ボリュームをあげる。	4、6
ワイヤレスマイクの音がでない。	● 適合ワイヤレスマイク以外を使用している。 ● ワイヤレスマイクの電池が消耗している。	● 適合ワイヤレスマイクを使用する。 ● 新しい電池と交換する。	—
AUX入力端子に接続された機器の音がでない。	● 送らチャンネルのワイヤレスマイクを 使用している。 ● 接続機器のプラグが抜けている。	● ワイヤレスマイクと本機に組み込みワイヤレス チューナーユニットのチャンネルを合わせる。 ● プラグを確実に接続する。	5、6
音が割れる。	● 本機のAUXボリュームが絞られている。 ● 接続された機器のボリュームが絞られている。	● 本機のAUXボリュームをあげる。 ● 接続された機器のボリュームをあげる。	4
音が小さい。	● 接続機器からの入力信号が小さい。 ● 本機のボリュームが過ぎている。 ● マイク/ライン入力端子にラインレベル の機器を接続し、入力感度切替スイッチが “-54dB”側になっている。	● 接続機器の音量をさげる。 ● ボリュームをさげる。 ● 入力感度切替スイッチを“-10dB”側に する。	4
本機がびびりつく。	● 本機のボリュームをあげ過ぎている。	● ボリュームをさげる。	4
音が小さい。	● 接続機器からの入力信号が小さい。 ● マイク/ライン入力端子にマイクを接続し、入 力感度切替スイッチが“-10dB”側になっている。	● 接続機器の音量をあげる。 ● 入力感度切替スイッチを“-54dB”側に する。	—
4			4

ブロックダイヤグラム



外観寸法図 (単位: mm)

